

令和7年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【馬宮中学校】

⑥	次年度への課題と学力向上策
知識・技能	
思考・判断・表現	

①	今年度の課題と学力向上策	
	学習上・指導上の課題	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	<学習上の課題> 基礎的・基本的な知識・技能が定着していない。 学習習慣が定着していない。 <指導上の課題> 基礎的・基本的な知識・技能を習得するための時間の確保が少ない。 主体的に家庭学習の状況を振り返る時間が確保されていない。	⇒ 授業中に生徒が自らの学習を振り返る時間や学習計画を立てる時間を設定する【毎時間設定】。 朝学習で生徒が自ら学習するとともに、学習の振り返りをする【毎朝】
思考・判断・表現	<学習上の課題> 自分の考えを言葉で表すことに苦手意識があり、「思考・判断・表現」の記述式問題の無回答率が高い。 <指導上の課題> 自分の考えを明確に説明する活動や他者と教え合ったり高め合ったりするような授業が少ない。	⇒ 生徒がワークシート・作品・レポート等を作成する機会を設ける。 【毎回の授業で実施】 生徒が主体的に課題に対して話し合う機会を設ける。【毎回の授業で実施】

⑤	評価(※)	学力向上策の実施状況
知識・技能		①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等
思考・判断・表現		

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	数学の「数と式」の領域において、特に「数量を文字を用いた式で表すことができるかどうかをみる」問題に課題が見られた。数量を文字で用いて式で表すことの理解が不十分であると考えられる。 学習状況では、「数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか」では、肯定的な回答が85.2%であったため、生徒の粘り強く学習に取り組む姿勢を意識した授業を継続していく。
思考・判断・表現	国語の「資料や機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝えるように表現を工夫することができるかどうかをみる」問題において課題が見られた。資料等の根拠を用いた、自分の考えを表現することが不十分であると考えられる。 学習状況では、「国語の授業で、文章を読み、その文章の構成や展開に、どのような効果があるのかについて、根拠を明確にして考えていますか」では、肯定的な回答が90.1%であったため、文章の構成や展開を理解して上で、協働的な学びの場面を活用して、生徒の個に応じた考える力を高めていく。

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告		中間期見直し
	評価(※)	学力向上策の実施状況	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	B	朝学習を取り入れて、継続的な学習をすることができた。 朝学習で生徒がより深い学習をするために、授業中での学習を振り返る時間や、学習計画を立てる時間を増やしていく必要がある。そのために、タイムマネジメントをよりしっかり行っていく。	変更なし
思考・判断・表現	B	生徒がワークシートへの書き込みや作品の創作に、積極的に取り組めるように、課題の提示や評価方法の明示をすることができた。 意欲的に授業に取り組めるように、対話的な学びを積極的にとり入れた。	変更なし

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)